

『真光寺川 里親の会』通信

12月号 一通算第129号

2011年12月11日

用水路の頃の真光寺川の思い出

今月は片平にお住まいで、真光寺川で30年以上前から釣りを楽しんでおられる村岡様に投稿をお願いしました。

ま だ、息子が小さい頃（小学2～3年？）、今から30年以上前になると思います、現在釣りをしている、この下堰橋が用水路の水門当たりであったと記憶しています。笹竹を切って竿にしてヌマチチブ（ダボハゼ）、モツゴ（クチボソ）、モロコなどを釣っていました。水門の仕切板の下側が良いワンド（溜り水）になっていて、深くなく、釣りや水遊びには最高でした。現在ある文具屋（ソムソムズ）当たりからたんぼであぜみちを通って往き来したものです。鶴川駅に行かれる方々も、このあぜみちを通ると近道なので利用していたものです。用水路の橋を渡って本道に出る所に、今の鶴川地所さんがあり、スーパー銭湯の走りでスワンという沸かし温泉がありました。



下堰親水で釣った魚たち

又下堰橋の下流に三輪橋があり、そこからもう少し下流に鶴見川との合流地点があります。そこに行くのには川沿いは行けず本道（横浜上麻生線）の右側脇にそば処便利屋（現在もあります）があり、真光寺川終点の前あたりになりますが、この小川では小鮒なども釣ることが出来ました。また護岸工事がされる前で、とても自然で静かで穏やかな場所でした。

また上流に戻りますが能ヶ谷神社の近くに平和台幼稚園がありますが、息子はこの幼稚園に通っていて、田植えの時期に、鶴川第二小学校から坂を下り真光寺川の手前のたんぼでお田植えの実習をして、ドロドロになっていたのを思い出されます。この辺りのたんぼは園長さんの田んぼであったと記憶しています。釣りの好きな私にとって護岸工事がされる前の自然豊かな真光寺川の用水路、たんぼ、あぜみち、できることならタイムスリップしたいと独り言です。

こ れからは下堰橋の釣りの話をモゾモゾと書いてまいります。去年の暮12月29日に釣りにここに来たところ、な！なんと魚が腹を上にして浮いていたり、沈んでいたり、しばらく様子を見ていて、少しづつ上流に向かって川の状態を探って行くと広袴公園から出る水門までこの状態が続きました。後から耳に入ったのですが、広袴公園の池も魚が浮いていたそうです。すぐに町田の管理事務所に電話をしたのですが、御用納めでつながりませんでした。悔しくて、残念で、ここまで大きくなった魚たちを返してくれ！！・・・とがっかりしました。

今年の春になり、4～5センチの稚魚が確認出来た時のうれしさと喜びはひとしおでした。現在確認できた魚はオイカワ（ヤマベ）、モロコ、モツゴ（クチボソ）、小鯉、ブルーギル、バス、ウグイなど。これらは全て釣りあげました。あとナマズが泳いでいるのを確認しました。



美しい手作りの浮たち

こ の場所での使用釣り道具は竿は3.6Mの小継ぎ竿、仕掛は道糸0.4号、ハリス、絹糸かテトロン糸、鉤（はり）はタナゴ鉤の流線か半月、浮は発砲浮の②（ガン玉8号2つ）か③を使用します。浮は全て自作物です。次の機会があれば少し釣りの話をしたいと思います。

釣り人よ！行った時より帰り方がきれいに！！

（文と写真 村岡 義雄）

麻生総合高校と清流にする会との体験交流会

恒 例行事になっている麻生総合高等学校との体験交流会は 11 月 10 日開催された。広袴調整池の展望デッキに 9:30 分集合。村瀬先生と生徒 25 名、そして会からは山口会長、山岡、吉田、桜井、生江の 5 名が出席した。はじめに、山口会長から「真光寺川を清流にする会」の活動内容を紹介し、本日の交流活動の行事について説明した。交流活動として、「調整池の観察」「真光寺川の散策とごみ拾い」そして最後にいこい会館で意見交換を予定していることを説明。

○山岡会員から、真光寺川に生息する魚たち、そして調整池を拠点に活動している小鳥たちについて写真を用いて説明した。調整池にはカモたちが群れをなして活動していた。熱心に写真を撮る人の姿も見られのどかな風景である。説明後、調整池を一周した。過日、町田市下水道部が池のどぶさらいをしてくれた効果と思われるが池の水の流れが良くなり綺麗になった感じがした。全員で真光寺川添えを下る。途中で五条池の周辺の干し草をごみ捨て場に運んでもらった。また、都会の川は護岸工事により真光寺川は 2 面側溝になり川の風情は変わったことなどを話しながら散策をする。



広袴調整池で話を聞く麻生高生徒

○川のごみ拾い 矢崎橋の手前から川に入り上下 500 メートルのごみを拾ってもらった。ごみは思ったよりは少なく 5 袋位であった。終了後、能ヶ谷いこい会館に集合。

○吉田会員から植物の話 真光寺川添えの植物は帰化植物も増加していること、その原因として考えられるのは周辺の住宅化が進むに従って土砂の移動があり、それに伴い帰化植物の増加が考えられる事などを説明。

○生江会員から水の話 地球の水は大半が海水や氷河、淡水はわずかの 2、5%、利用できる河川水は 0、3%のみ。水を大切にすることが如何に重要であるか、本日の川のごみ拾いを通じて体験いただいたことを忘れずにいてほしい。川は決してごみ捨て場ではない、ということを忘れないでほしい。

最後に、生徒代表からお礼の言葉があり今年の交流体験会は 12:30 分に無事に終了しました。尚、広袴調整池デッキで説明中に鳥の写真が隙間から池に落ちました。後日の川掃除の際に山本会員が川から回収できましたことを申し添えます。(文 生江 透)

『めだかポスト』

11 月はポストへのご寄付のほか見つめ会・一木会からのご寄付を合算して 1,305 円でした。里親の会の活動に対して皆様のご厚志に感謝いたします。

11 月の清掃報告

総勢 13 名が清掃に参加。数日前からの肌寒い日から一転し爽やかな暖かい日との清掃作業でした。合計 23 袋分のごみを回収。皆さんからは小魚がたくさん泳いでいたとの報告が寄せられ、下堰親水では久しぶりにモクズカニの死骸が見つかりました。

1 月 11 日（水）真光寺川の尾根散歩と J パワー見学を予定

1 月の例会は新年会を兼ね、真光寺川の尾根散歩と J パワー見学を予定しています。行程は能ヶ谷橋→鎌倉街道ハヤの道→能ヶ谷西緑地→尾根道→鶴川台尾根緑地→真光寺公園→真光寺川の源流域にある J パワー（電源開発（株））西東京変電所見学（11 時～12 時）、その後近くのレストランで新年昼食会、解散の予定です。また時間があれば真光寺川の源流の一つである飯守川源流を訪ねる予定です。なお J パワーには保安上見学者名簿を提出する必要があります。参加される方は 12 月 25 日（日）迄に山本（042-736-0214、ryuji.yamamoto1940@nifty.com）まで連絡ください

集合：能ヶ谷橋 10 時 0 分（時間厳守） 解散：午後 2 時ごろ

一般の方々のご参加を歓迎いたします。一緒に散策しませんか。

『<http://www.shinkojigawa.com/>』 ホームページへご意見感想をお寄せ下さい

『真光寺川 里親の会』会長：山口 拓郎 町田市鶴川 1-10-13 TEL/Fax 042-735-0382

事務局：町田市広袴 3-24-11 山本隆治 TEL/Fax 042-736-0214 e-mail ryuji.yamamoto@beach.ocn.ne.jp